



# 横浜市におけるエイズ対策

## 横浜AIDS市民活動センターにおける 啓発活動・ボランティア団体支援

横浜市健康福祉局  
健康安全部健康安全課長  
岩田 眞美

# 横浜市のエイズ対策

## 【相談・検査】

- ・通常検査(18区で実施)
- ・夜間検査
- ・即日検査(土曜日、日曜日)

## 【医療・カウンセリング】

- ・2拠点病院へのカウンセラー派遣(各病院 週3回派遣)
- ・陽性告知対応

## 【啓発】

- ・保健所(18区福祉保健センター・局)
- ・横浜AIDS市民活動センター

# 横浜市における啓発事業 ～区での取り組み～

## 【区民まつり】

- ・パンフレット配布等

## 【学校との連携】

- ・講演会

## 【世界エイズデー】

- ・区でのパネル・写真展
- ・啓発グッズ作成



区役所での写真展



作成した啓発グッズ

# 横浜AIDS市民活動センター

## 【背景】

- ・平成6年第10回国際エイズ会議が横浜市で開催
- ・市民活動の盛り上がり



**横浜AIDS市民活動センター**設立(平成7年7月7日)

## 【設置目的】

- ・市民に情報・学習・研修の場を提供
- ・ボランティア活動の支援



マスコット コムちゃん

# 横浜AIDS市民活動センター

## 【場所の提供】

- ・市がボランティア活動の場所を提供
- ・関内駅1分、オフィスビル9階

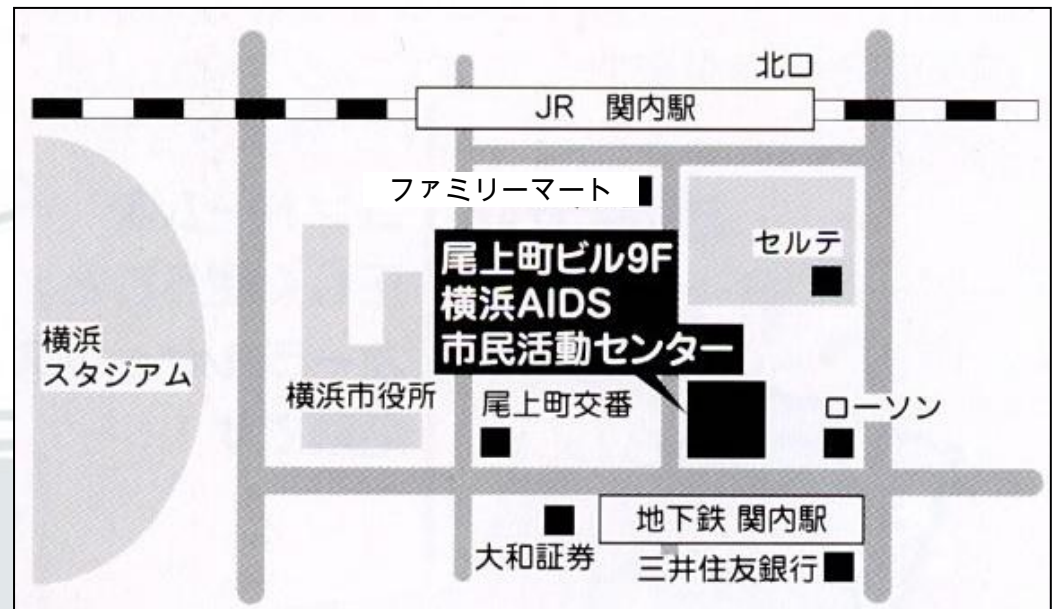
## 【運営方法】

- ・『エイズ啓発・情報提供事業』を団体に委託

※平成22年度より「公益財団法人横浜YMCA」へ委託

## 【業務委託概要】

- ・予防啓発活動に関すること
- ・ボランティア活動の支援に関すること



# 書物・啓発物品の貸出

- ・書籍 ・ビデオ・DVD
  - ・パネルや写真
  - ・性教育用人形
- など

- イベントに
- ・世界エイズデー ・学園祭

- 個人や先生に
- ・授業で
- ・児童相談所の性教育



貸出用書籍(テーマごとに整理)



← 明治学院大学戸塚まつり パネル展示

# パンフレットの展示

- ・配布用と閲覧用を設置
- ・個別施策層を意識した展示



MSM向けパンフレット展示コーナー



外国人向けパンフレット展示コーナー

# 啓発物品の作成・配布

## 【主な作成物】

- ・活動センター案内
- ・横浜市検査案内（＋横浜市内検査日程表等）
- ・週刊☆STI案内カード
- ・知ってる？コンドームのこと

## 【配布】

横浜AIDS市民活動センターが啓発資材を管理し、配布する。



# ニュースレター『おーぷん』発行

- ・年4回の発行
- ・エイズ関連情報や市民活動情報等を掲載
- ・A3サイズ 2つ折
- ・発行実績 3,000部(5月、11月) 5,500部(7月、2月)
- ・配布箇所 横浜市内公立学校、県内大学等  
エイズ拠点病院、エイズ活動団体 等

## 【記事例】

- ・エイズ関連新書・DVD紹介
- ・「AIDS文化フォーラム in 横浜」案内
- ・世界エイズデーイベント案内

# インターネットでの情報提供

- ・ホームページ

- ・メールマガジン発行

【週刊☆STI】⇒ エイズや性感染症についての記事

- ・携帯電話のメールへ発信
- ・毎週金曜日発行
- ・配信開始 平成13年

【メルマガ「おーぷん」】⇒ エイズ関係イベント情報提供

- ・パソコンのメールへ発信
- ・毎月一回発行
- ・配信開始 平成14年

# エイズ関連情報収集・提供

- ・NGOに関するもの
- ・新聞記事
- ・雑誌記事
- ・インターネット

## 【情報収集のKey Word・・・】

エイズ、HIV、LGBT、  
性感染症、性教育、  
薬害、コンドーム、セックス など



記事は来館者の目に留まるところに掲示  
(赤枠内が記事掲示箇所)

# 予防啓発イベント等の 企画・実施等

## 【世界エイズデー in Yokohama】

- ・世界エイズデーに合わせ、毎年11月最終週の土曜日、または日曜日に、イベントを企画し、横浜駅で開催。
- ・エイズ活動団体にも参加を呼び掛けている。

### (平成24年度実績)

- ・平成24年11月24日(土)  
11時から17時まで
- ・横浜駅そごう前
- ・参加団体 5団体



# 予防啓発イベント等の 企画・実施等

## 【講演会】

- ・HIV・エイズの基礎知識や性について学べる  
講座を企画
- ・横浜AIDS市民活動センターで開催

(平成24年度実績)

・平成24年12月15日(土)

「HIV・エイズってなに？」

～基礎知識から、性・生・人とのつながりまで～」

・平成25年1月11日(金)

「大人から子どもたちへ伝えたいこと ～性と心と体のこと～」

# 学校への講師派遣

## 【事業概要】

青少年が、エイズについての正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るため、学校の要請に合った活動を行うことのできる講師を派遣する。

- ・派遣先                      横浜市内の公立学校等
- ・対 象                        小学生高学年、中学生及び高校生

(学校からの要請例)

- ・講演
- ・生徒が自ら参加するワークショップ

# 学校への講師派遣

## 【派遣講師について】

- ・横浜AIDS市民活動センターに講師登録している団体から選択
- ・現在、登録団体数 **3団体**
  - 「社団法人神奈川県臨床衛生検査技師会」
  - 「特定非営利活動法人AIDSネットワーク横浜」
  - 「公益財団法人横浜YMCA」

# 啓発活動団体支援

## 【地域・学校・職場等でのエイズ対策活動の取組を支援】

### ①横浜AIDS市民活動支援金

エイズ啓発のための講演会、イベント等の市民活動に対するの支援金

### ②AIDS文化フォーラム参加支援金

『AIDS文化フォーラム in 横浜』に参加し、発表や出典した団体等に対するの支援金

(平成23年度利用実績)

	申請団体数	申請受付件数	交付決定件数
①横浜AIDS市民活動支援金	4	9*	6
②AIDS文化フォーラム支援金	10	10	10

\*ひとつの団体が複数件申請可能なため



# ボランティア活動の支援

## 【支援概要】

- ・HIV・エイズ関連活動団体に、事務所等の場所を横浜 AIDS市民活動センター内で提供し、団体の活動を支援すること。
- ・現在、利用登録団体数 **4団体**
  - 「特定非営利活動法人AIDSネットワーク横浜」
  - 「アジアの女性と子どもネットワーク」
  - 「特定非営利活動法人SHIP」
  - 「AIDS文化フォーラム in 横浜運営委員会」

その他、上記以外の団体も、随時ミーティング等で利用

# ボランティア活動の支援

## 【事務所として】

- ・特定非営利活動法人AIDSネットワーク横浜
- ・アジアの女性と子どもネットワーク

## 【備品の利用で】

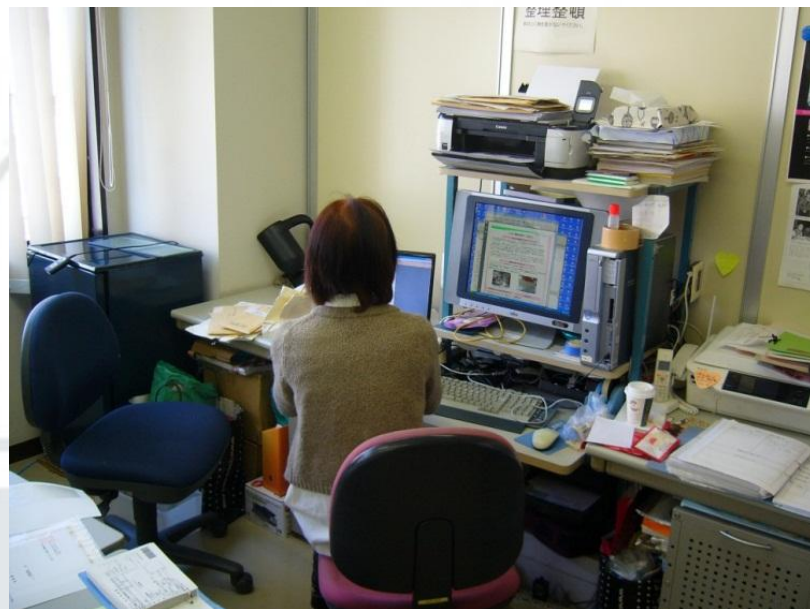
- ・特定非営利活動法人SHIP
- ・AIDS文化フォーラム in 横浜運営委員会

## (申し込み方法)

- ・申込様式に必要事項を記載し、活動センターへ送付

# エイズ市民活動団体活動スペース

- ・NGOスペース事務所として利用
- ・机、いす、ロッカーは活動センターの備品
- ・パソコンやプリンターは利用団体が用意
- ・コピーはセンターで有料対応



# スペースの活用

## 【ミーティングスペース】

- ・会議
- ・打ち合わせ
- ・講演 ・研修

## 【作業スペース】

- ・ポスター作り
- ・印刷物発送作業

## 【ビデオ・DVDスペース】

- ・貸出(または閲覧)可能なビデオやDVD視聴
- ・カウンセリング



# スペースの活用

## 【印刷スペース】

- ・ニューズレター  
「おーぷん」の印刷
- ・市民や利用団体による  
印刷（機関誌発行など）
- ・紙折機あり



(利用実績)

単位：枚

	複写機	印刷機	マスター(紙折機)
21年度	11,877	207,469	1,383
22年度	9,940	153,024	1,286
23年度	10,570	116,036	1,022

# 来館者数統計

(平成21年度から平成23年度まで)

単位:人

	情報収集	会議室等 利用 <sup>※1</sup>	作業利用	相談対応	合計
21年度	718	877	970	654	3,219
22年度 <sup>※2</sup>	240	1,081	949	242	2,512
23年度	945	1,422	922	429	3,718

※1 ミーティングルーム、作業スペース、印刷機器スペースの利用者

※2 カウント方法の違いによる減少

# ボランティア団体へ活動の場を提供する利点

- ・各団体が安定した活動の場を得ることができる
- ・それぞれの団体のネットワークから、幅広く、エイズ活動関連団体の情報を入手することが可能
- ・イベント等での連携が容易
- ・個別施策層に対する啓発強化
  - (例) 平成24年4月に特定非営利活動法人SHIPが登録  
⇒ 活動センター内に「MSM向けパンフレット」等の展示コーナーが新設置

# 課題と今後に向けて

## 【課題】

- ・利用団体の固定化傾向
- ・ボランティア団体やボランティアの減少
- ・財源

## 【今後に向けて】

委託先の「横浜YMCA」が持っている若い世代の育成・啓発のノウハウを活かす！

横浜AIDS市民活動センター

人材育成

・知名度UP  
・エイズ活動へのきっかけ作り

より開かれた市民活動センターへ

ボランティア団体の更なる支援